
しばらくぶりに。

nakoso

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しばらぐぶり。

【著者名】

N4018D

【作者名】

nakoso

【あらすじ】

あの頃の『貴方』は、まだそばにいますか？

しばらくぶりに会った彼は、最後に会った時と同じ笑顔で、思わず恥ずかしさを覚えた私は、

「髪切ったの？」

と見上げるふりして目を逸らした。
あ、ダメだ。
と思つ。

「ほり、もうすぐだから

何でもない顔で彼は言つんだけど、短髪の方がその顔立ちには似合つと思つ。

しばらくぶりに2人で入った居酒屋は、最後に入つた時と同じ騒々しさで、思わぬ錯覚を覚えた私は、

「相変わらず学生ばっかだね」

賑わう店内を見回すふりして横顔を盗み見た。
あー、ダメだ。

やつぱり思つ。

「2人、入れます?」

屈託のない笑顔で店員に指を立てる、
その横顔のシルエットは変わつていない。

しばらくぶりに向かい合つたテーブルには、
見覚えのあるタバコの焦げ痕があつて、
過去の宣誓を思い出した私は、

「タバコはやめた?」

田を泳がせる彼を容易に思い描いて、
それでもなお試みた。
お、もしや。
意表を突かれる。

「もううるさい」

下がり気味の田尻から尖つた顎先まで、
笑顔で誇る彼の彼女を、初めて羨んだ。

しばらくぶりに交わした彼との会話は、
積もつた話が堰せきを切り、
止めどない漂流を楽しんでいた私は、

「わ、もうこんな時間」

不羈な時計の針を、悟られぬよう睨み付けた。
あー、ひー。

罪悪感を思い出す。

「出よっか

支度にもたつく私の前から伝票だけを持ち去って、会計を済ませるその背中は、やっぱり変わっていないんだと思つ。

しばらく、ふりに彼を見送る改札口は、見るところ見るところ赤ら顔が並んでいて、終電間際に「」つた返す人波の前で私は、

「気をつけて帰つてね」

「おまえもな

「裏切んなよ」

「？」

「彼女を」

「ああ、そういう事ね。裏切りません」

改札口の向こうから、彼が左手を振る。

かつては彼が隙間を埋めていた、
私の右手を振り返す。

かつては私が隙間を埋めていた、
彼の左手にはまる指輪。

裏切んなよ。

つかみ取った彼女を。

裏切んなよ。
幸せになれと願う、私の想いを。

あなたが初めての舞台で戸惑っている間、
私は服を買っていよひと思ひ。

あなた以上の幸せをつかむひと思ひ。

結婚おめでとう。

人波が搔き消した彼に背を向けて、私は歩き出す。

しばらくふりに見つけた私は、
それでもやつぱり私だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4018d/>

しばらくぶりに。

2010年12月19日02時20分発行